情報交差点・心と心の交わり

あじま～

大宜味村教育委員会
電話４４－３００６
FAX　４４－３０２９

「我等は強し少年少女！ 81 名 華麗に輝け大中魂！！」

第 32 回大宜味中学校運動会

感動した!!

男子組み体操

練習では１回も成功できなかったタワーが本番では一発成功！！

女子舞踊

見事なカイさばきと足踏み
そして一糸乱れぬ集団美

3年生による団技

選曲から振り付けまですべてが手作りのダンス

フォークダンス

先輩たちのリードもあり、１年生も見事に踊りました。

全力を出し切った!!

エイサー

全校生徒で行う最後の演技
迫力満点のエイサー

総力リレー

転んでも泥にまみれになっても
全力疾走!!

台風 15 号が接近最中の９月 18 日（日）、「我等は強し少年少女！ 81 名華麗に輝け大中魂！！」をスローガンに大宜味中学校の運動会が開催されました。

演技のほぼすべてが体育館で行われる中、最終種目はグラウンドにて１年生、２年生、３年生、（急きょ作られた）先生と保護者の大人チームの４チームによる総力リレーが行われました。

雨でぬかるんだグラウンドで転んで泥まみれになりながら、最後はどのチームもアンカーはヘッドスライディングでゴール。運動会のトリを飾りました。全員の頑張りで大いに盛り上がり、大成功の運動会となりました。

※女子の舞踊（谷茶前、伊計離り節）では地域の方々から快く衣装を貸していただきました。おかげで感動を与える演舞となりました。大宜味小、塩屋小、塩屋区のみなさまありがとうございます。

貴重な３週間を経験…　海外短期留学報告会

８月 26 日（金）、役場第一会議室にて平成 23 年度第４回海外短期留学報告会が行われました。

７月 15 日～８月４日の３週間、大学での授業やホームステイなど様々な体験をして帰ってきた宮城真桜さん、新城夢乃さん、佐久川美希子さん、照喜名流風さん４名が一人一人短期留学の報告をした後、留学の様子をスライドで発表してくれました。

モール・オブ・アメリカでランチ

楽しい授業の様子

エリーナ先生との再会

２泊３日のホームステイ

※留学中の写真は琉米歴史研究会ホームページより引用しました。

第 26 回「少年の主張」国頭地区大会

９月６日（火）、今帰仁村コミュニティセンターホールで第 26 回「少年の主張」国頭地区大会が開催されました。

大宜味村からは大宜味中学３年生の宮城真桜さんが出場し、「成長の第一歩」と題して、セントジョーンズ大学に短期留学して体験したこと、印象に残ったこと、学んだことを話してくれました。

真桜さんが発表した内容を掲載します。

「成長の第一歩」大宜味中学校３年　宮城真桜

“English is a Tool !!”　“Let’s speak English and see the world !!”

「英語は道具です。英語を話して世界に挑戦」

これは今年の夏、私が参加した海外短期留学のキャッチフレーズです。

「世界に挑戦」この言葉に私は「自分を成長させるチャンスかもしれない」と思いました。

二年前、「海外短期留学」と耳にしたとしても、自分には無関係のことだと思っていました。あれから二年経ち、英語の授業中の先生の「誰か挑戦してみたい人いない？」という言葉に友達と「一緒に行けたら楽しいはずねー。行くか。」と正直軽い気持ちで盛り上がっていました。両親に話してみると、「成長するためにいいチャンスだよ。」と予想通りの返事でした。

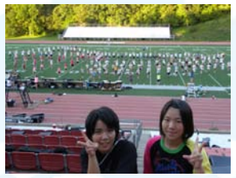
しかし、申込みの期日が近づくにつれて、選考試験に受かるだろうか、もし、留学が決まっても他の学校の人と、ましてやアメリカでうまくやっていけるかどうかとさまざまな不安が頭をよぎり、決めかねていましたが、先生方からの後押しがあり、「合格できればラッキー、一歩成長できるチャンス」だと自分に言い聞かせ申し込み、選考試験当日。

緊張して、自信もありませんでしたが、合格する事ができてとても嬉しかったです。

それから、四回の説明会を受け、七月十五日いよいよアメリカへ出発。

沖縄から出発すること約十五時間。三週間生活するセントジョーンズ大学へ到着しました。

始めは緊張と三週間日本を離れて過ごすことへの不安で帰りたいと思っていました。



しかし、アメリカの生活にもなれてきて、新しい友達もでき、一緒に遊んだり、クラスで授業を受けたりしていくにつれて、不安はなくなり、もっとアメリカにいたいと思うようになりました。

博物館見学、大リーグ観戦、バーベキュー、ショッピング、ホームステイ、湖やプールで泳いだり、ロッククライミングをしたりなど日本ではできない沢山の事を体験する事ができました。

その中でもホームステイは二泊三日と短い期間でしたが、私は大きく成長できたと思います。ホストファミリーは、私達をとても温かくむかえてくれて、フラワーパーク、美術館、ショッピングにつれていってくれ、また、親せきや友だちを呼んでパーティーもしてくれました。あまり、英語の話せない私はホストファミリーとジェスチャーを使いながらの会話で自分の思いが対手に伝わった時はとても嬉しかったです。

二泊三日という短い期間でしたが、アメリカの文化に触れる事ができ、普段とはまったく違う環境での生活はとても新鮮で思い出となるものでした。

この短期留学に行って本当に良かったです。

アメリカの文化に触れることができたのはもちろん、現地の人と関われた事、そしてなにより、自分自身が大きく成長できた三週間でした。

短期留学を通し、英語だけでなく協力することの大切さや自分から積極的に動くことの重要性、人と人とのつながりなど改めて学ぶ事が多くありました。また、四十五名の最高の仲間と共に過ごした三週間は、私にとって宝物であり、これから先、自分の夢に向かって進んでいく道のりの中で、きっと私を勇気づけてくれるものになるでしょう。

思い切って挑戦して良かったと今、はっきりと言えます。
私はこれからも挑戦する事をおそれず、前進していこうと思っています。
自分自身の成長の為。
そして、夢を叶える為に。

「ぼくのちかい」

名護警察署長賞を受賞した
吉濱爽君の作文をご紹介します。

喜如嘉小学校３年　吉濱爽

ぼくの両手首には、きずあとがあります。これはこっせつをして、金ぐを入れたあとです。ぼくは、このきずあとを見るたびに、交通安全について考えます。

ぼくが二年生になったばかりの日曜日の朝、友だちが自転車にのって家に遊びにきました。

「おれものりたい。かして。」、「いいよ。」ぼくはワクワクしてその自転車にのりました。

でも、「あれ、ブレーキがきかない。」止まろうとしても止まらないのです。

「この自転車ブレーキがきかないの。」

「そうだよ。」

「まあ、いいや。」ぼくはそう思い、そのまま自転車にのり、坂道をおりていきました。目の前に公みん館がありました。

「あぶない、ぶつかる。」ぼくはブレーキをかけました。友だちがブレーキがきかないと言っていたのを思い出したしゅん間、ぼくはかべにぶつかっていました。目を開けたら、手が動かなくなっていて、「どうしたんだろう。」と思いました。

それから、お母さんといっしょにびょういんに行きました。レントゲンで先生にこっせつだと言われ、しかも両手だと言われました。

「お母さん、こっせつって何ね。」

「ほねがおれているんだよ。」

ぼくはとてもいやな気持ちでした。

何日かたって、左手を手じゅつしました。全身ますいをしてねていたぼくは、目がさめた時に、金ぐを入れたことを知りました。また何日かして、右手にも金ぐを入れました。

それで、おはしもうまく使えなくなって、お母さんにごはんを口に運んでもらいました。ぼくは苦しかったです。となりの人も、一日中「うーん。」と苦しそうでした。小さい子どもも入いんしていました。「ぼくい外も苦しんでいる人がいるんだな。」と思いました。

ぼくは、一カ月間も学校を休みました。休んでいる間によく思ったことは、「あの日にまたもどりだい。」ということです。あの日にもどって、ブレーキのきかない自転車に乗らなければよかったと思って、とてもこうかいしました。そして、自転車にのる人は、けがをしないように、点けんをしてからのることが大事だということがわかりました。ぼくはこれから、それを守って自転車にのろうと心に決めました。

車を運転する大人も、自転車にのるぼくたちと同じだと思います。ルールを守って車を運転して、いんしゅうんてんもしないでほしいです。人がひどいけがをしないように、命を守るために、車と車、車と人がぶつからないようにするために、交通ルールは大切です。道ろには「カーブにちゅうい」「とびだしちゅうい」といったかんばんがたくさんあるのでそれを守って下さい。

また、喜如嘉小学校のまわりの道ろには、「おいた美人多し。ゆっくり走ろう」というポスターがあちこちにはられています。ぼくは、喜如嘉たんけんをしたときにこれを見つけ、あたたかい気持ちになりました。

「だから喜如嘉の人たちはゆっくり走っているんだ」と思いました。また、喜如嘉にはお年寄りが多いから、事こがおこらないようにというねがいがこめられているので、ぼくの住んでいる地いきの大人は、交通安全のことをみんなで考えていてえらいと思いました。だからぼくも、自転車に乗る時だけじゃなくていつでも交通ルールを守って、大人たちといっしょに事このない地いきを作っていきます。

ぼくは、この両手のきずあとに交通安全をちかいます。

よりよい環境で学ぶために　～県教育庁学校計画訪問～　塩屋小学校

９月 13 日（火）、県教育庁の学校計画訪問が塩屋小学校でありました。

今回の訪問には、大宜味村出身の大城浩沖縄県教育長も来てくれ、児童たちと一緒に給食を食べたり、授業の様子を見学したりしました。

その後、学校からの現状報告を受け、塩屋小の児童たちが良い環境で学べているか、これからもっと学びやすい環境にするようにはどうしたらよいかを県教育庁の訪問団と先生方とで話し合いをしました。

訪問団の方を教室までご案内

一緒に給食、食べました♪

この日のメニュー
県教育委員会の方々も大絶賛

１年生の授業の様子。
教室の中にあるカタカナを見つけます。

こんなところにも、カタカナが…
給食のこんだて表でした。

県教育委員会の方々と先生方がこれからの学校のあり方について真剣に話し合い。

日本一交通安全な村をめざして　～秋の交通安全推進村民大会～

９月 21 日（水）、大宜味小学校体育館にて平成 23 年度大宜味村交通安全推進村民大会が行われました。大会では交通安全作文コンクールの表彰と意見発表が行われ、大宜味村の小中学校から９名の児童生徒が表彰を受けました。

意見発表では低学年の部から吉濱爽君（喜如嘉小３年）、高学年の部から宮城七珠さん（塩屋小６年）、中学校の部から宮城純太君（大宜味中２年）の３名が、自ら体験して気づいた交通安全を守ることの大切さを述べてくれました。

交通安全作文コンクール受賞者

名護警察署長賞	吉濱爽（喜如嘉小３年）
名護地区交通安全協会長賞	山川はるひ（大宜味小６年）、仲宗根舞（津波小３年）
村交通安全推進協議会入賞	國吉琴美（喜如嘉小５年）、松田鈴（大宜味小１年）、宮城太陽（塩屋小２年） 宮城七珠（塩屋小６年）、花城綾姫（津波小５年）、宮城純太（大宜味中２年）

2011年（平成23年）10月1日　大教委通信 No.201

喜如嘉小学校

塩屋小学校

～４小学校　夏休み作品展～

９月８日（木）に塩屋小、津波小で、９月９日（金）に喜如嘉小、大宜味小で夏休み作品展、授業参観が行われました。ここではその一部しか紹介できませんが、自由研究や工作、習字、絵など作品からどんな夏休みを過ごしたのか想像でき、みんなが充実した夏休みを過ごせたことが伺えました。どの作品も個性が出ており、見ごたえのある作品展でした。

大宜味小学校

津波小学校

世界に誇れる日本の優れた工芸技術。

喜如嘉の芭蕉布や石川県の輪島塗、岐阜県の本美濃紙など作品展示や製作実演をとおし、日本の伝統美や職人の技に触れてみませんか？

国から重要無形文化財保持団体認定を受けている14団体が連携して伝統技術の保存伝承に努めようと結成された「全国重要無形文化財保持団体」が各保持団体の工芸品を一堂に紹介。大宜味村は今年度の大会開催地（第20回全国重要無形文化財保持団体協議会大宜味大会は10月５日～７日に行われます）となっています。

開催期間中には紙すき（石州半紙）、糸づくり（喜如嘉の芭蕉布）、型彫り（伊勢型紙）の製作実演およびワークショップも開催されます。

※ワークショップの詳しい日程についてはちらしをご覧ください。

第十九回重要無形文化財保持団体　秀作展

日本の伝統美と

技の世界

期間：平成23年10月6日（木）～23日（日）

会場：沖縄県立博物館・美術館　企画展示室

入場料：大人500円　高・大300円　小・中200円

開館時間：午前９時～午後６時（金曜・土曜は午後８時まで）
（月曜日は休館日、月曜が休日にあたる場合は翌平日）

＊＊＊＊＊＊＊＊ 日本が誇る伝統工芸作品をこの目で確かめに行きませんか？ ＊＊＊＊＊＊＊＊

～秀作展　無料バスツアーのご案内～

日時：平成23年10月23日（日）

日程：午後１時　大宜味村役場集合　及び　出発
　　午後３時　沖縄県立博物館・美術館　到着
　　午後４時　沖縄県立博物館・美術館から大宜味村へ向け出発

定員：20名（定員になり次第、申し込みを終了させていただきます。）

申込方法：大宜味村教育委員会まで直接お電話でお申し込みください。

電話：0980－44－3006

申込期限：平成23年10月15日（金）午後５時

問合せ先：大宜味村教育委員会　藤田

おじい、おばぁの時代にタイムスリップして遊ぼう♪

わんぱく体験団
第3弾

昔の遊び体験団　「身近な植物でおもちゃを作ろう!!」

楽しかった夏休みも終わりを告げた9月3日（土）、喜如嘉公民館でわんぱく体験団第3弾となる昔の遊び体験団が開かれました。

お父さん、お母さんにも体験してほしく、親子での参加を呼びかけたところ14名の子どもたちと7名の保護者が参加してくれました。

今回のわんぱくでは自分たちで材料となる植物を採集することからはじめ、その植物でおもちゃを作りました。

クロッグ（マーニ）を採集。

マーニから…

金魚

ヘビ

マーニを一生懸命織り込んで…

ソリのできあがり！！

とげに苦戦しながらアダンを採集

オオハマボウ
（ユーナ）を採集。

ユーナに切り込みを入れて
力強くたたいていくと…

皮と芯材が
はがれて…

刀のできあがり！！

作る時もとげとの格闘。
そしてできたのが…風車

ただの葉っぱや枝もおもちゃになることがわかった今回のわんぱく。ものがなくても工夫して何かを作っていた昔のこども（わんぱく）たちに一歩近づけたのかなと思います。

予想以上に時間がかかってしまい、保護者のみなさまにはご迷惑をかけてしまいました。反省です m(_ _)m。

教育委員　吉田春子先生より嬉しいお言葉をもらいました。

４月から大宜味村あじま～を担当する倉持有希さんを紹介します。

持ち前のユーモアと明るい笑顔で、カメラ片手に四方八方を駆けずり回り、村内の行事を追いかけている小さな知恵袋の持ち主です。いつも前向きになり、ほっとな記事を皆さんの茶の間にお届けする通称もっちー有希りんです。

あじま～を担当してからすでに半年が過ぎ、すっかり大宜味んちゅになり澄ましている？地域の行事や大宜味村各字の言葉、おじぃやおばぁ達の方言など、あれこれ取材をして一人で完璧に、コーヒーを飲み干しながら、仕事をこなし立派な記事を書き続けている有希りんです。

記事を収集するのも大変と思いますが、地域の皆さんがもっちーのあじま～を楽しく拝読しています。今か今かと首を長～くして待っています。頑張れ～～～～～あじま～！！

いつも、いつも感謝・感動です。　　教育委員　吉田春子

今月の生きもの

サシバ（タカ科）

「ミーニシ（新北風）」の風が吹く頃、内地から渡ってくる秋を告げてくれる鳥です。沖縄は渡りの通過点となりますが、「ウティダカ（落ち鷹）」と言って沖縄各地で過ごす個体も少なくありません。鳴き声は「ピックイー」とか「チンミー」（場合によっては「キッスミー」とか…）と聞きなされます。誰が一番にサシバの飛来を確認できるか競ってみるのも面白いかも♪

～編集後記～

今月も盛りだくさんの「あじま～」となりました。スポーツだけでなく、ものづくりや意見発表などでの大宜味っ子活躍に目を見張るばかりです。これから季節も徐々に秋めいてきます。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋。あっという間に過ぎていく沖縄の秋を楽しみましょう。

10月の行事予定

1日（土）運動会準備出校日（４小）
　　地区中体連陸上競技大会
2日（日）４小運動会
3日（月）区長会
6日（木）全国重要無形文化財保持団体協議会
　　大宜味村大会・秀作展（～23日）
7日（金）やんばるの家訪問（大小）
8日（日）幼稚園運動会
10日（月）体育の日
13日（木）世界のウチナーンチュ大会（～16日）
15日（土）ミニバスケット辺土名ブロック交歓会
16日（日）郡陸上競技大会
18日（火）村教委計画訪問（津小）
　　校内児童・お話大会（津小・大小）
20日（木）村学校保健委員会講演会
22日（土）ヤマシシっ子運動会（塩保）
23日（日）大保ダムまつり
25日（火）村内童話お話大会
28日（金）校内合唱コンクール（大中）
30日（日）老・婦合同スポーツ大会

村内のホッとな活動をご紹介♪

大宜味人の（ホッと）する話

大宜味村女子会（女子教職員の会）

７月28日（木）、大先輩から若者までが集い、大宜味村女子教職員のゆんたく会が開かれました。

乾杯の音頭をとって下さった（いつまでも手、足、口ちゃーがんじゅ～な）平良とみ先生、平和学習に全エネルギーを注いでおられる（声優のような美声の持ち主）平良啓子先生ら大先輩の長い経験と巧みな話術からなる話に引き付けられ、楽しいひと時となりました。

純粋に１年、３年、５年、10年、38年の職責を果たした事を思い出すばかりだと思います。一堂に集まれば、すべてが思い出に変わり、今だからこそ「笑える」、「語れる」、誰が何と言おうと再会した喜びがこうして盛大に開催されたことを誇りに思います。

また、平良とみ先生からは家族とともに歩んだ85年の冊子が会員全員に贈呈され、知っている方の写真や内容が豊富な冊子に目を細め見入っていました。昔はあんやたん、かんやたんに感銘を受けたと思います。冊子から何かを感じ、職を共にした大宜味村（出身）の女子教職員への励みになることでしょう。

平良とみ先生、大切な冊子を本当にありがとうございました。

～会を終えて～

これまでの会を途切れることなく継続・計画・運営してくださった幹事の金城文子先生、新城安子先生、山川ゆり子先生、村内外の先生方に連絡をしたり大変なご苦労があったと思います。お疲れ様でした。先生方のお顔を拝見すれば、すごいメンバーが健在であることに改めて偉大さを感じ、握手を求める度に共感と癒しを感じました。

～Change!!～

女子職員の会の役員がチェンジします。

昨年度まで役員をされていた金城文子、新城安子、山川ゆり子に変わり、平良政代、千住美和子、山川ゆり子、吉田春子が新役員となります。文子先生、安子先生お疲れ様でした。ゆり子先生、今年もよろしくお願いします。ゆり子先生、政代先生、美和子先生と共に頑張っていきたいと思います。

今回の会合で一番印象に残った言葉を紹介します。

「人間の賞味期限は３段階にあるそうです。
しかし、食べ物の賞味期限が過ぎたものを食べればでーじ（になってしまう）。」

吉田春子

このコーナーでは地域の方々が取り組んでいるさまざまな活動を紹介していきます。
紹介してほしい活動などあれば教育委員会「あじま～」担当：倉持までご連絡ください。

平成 15 年度より２期８年間にわたり教育長を務められた平良宏教育長が９月をもって退任することとなりました。

最後に琉歌と教育長からみなさまへの感謝の言葉をご紹介します。

今月の（教育長の）琉歌

命限り走ぃる
童たのしぃや
後（うぃ）やしが孫
一等賞

教育の道や
停てやならん
志情よ懸きぃて
やるぬ気起こぃ

謹啓

村民の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます

さて私ことを大過なく終了させて頂きました。

九月三日をもちまして二期八年の教育長の務め

教育長在任中は村民を始め教育関係者の皆様から公私にわたり格別のご支援ご協力ご厚情を賜りましたことに心より感謝申し上げます。これからは一教育の応援団員として努めてまいりたいと思います。

謹言

平成二十三年九月三日　平良宏

平良宏教育長、８年間お疲れ様でした！！